

【オンライン診療 診断学ことはじめ-診療、コミュニケーション、対応 を動画で解説-】

今後益々必要かつ重要になる『オンライン診療  
シミュレーション教育研修』に貢献するJaMITAC®

一般社団法人日本医療面接訓練評価センター:JaMITAC 代表理事 黒岩かをる MPH  
JaMITAC式 オンライン医療面接訓練士® チームコーディネーター

第13回日本プライマリ・ケア連合学会  
教育講演 『オンライン診療 診断学ことはじめ』  
診察、コミュニケーション、対応を動画で解説

---

今後益々必要かつ重要になる  
『オンライン診療シミュレーション教育研修』 @JaMITAC®  
オンライン診療に寄せる篤い想い



Japan Medical Interview Training and Assessment Center

一般社団法人 日本医療面接訓練評価センター 代表理事 黒岩かをる MPH  
JaMITAC式 オンライン医療面接訓練士® チームコーディネーター

一般社団法人日本医療面接訓練評価センター:JaMITACの黒岩です。  
先生方にはいつも様々な学会やセミナーで学ばせていただき、  
本当に有難うございます。

またこの度は、このような貴重な機会をいただきました  
理事長の草場先生、  
大会長の大橋先生、  
ICT診療委員会委員長の吉田先生へ、篤く御礼申し上げます。

本日は、【オンライン模擬患者・家族のパイオニア】と自負しております  
「JaMITAC式医療面接訓練士®チーム」の養成と、  
【プロジェクト参加やオンライン学会】等で得られた気づきや学び  
【オンライン診療へ寄せる篤い想い】を語らせていただきます。

# 日本プライマリ・ケア連合学会 利益相反(COI)開示

演者名: 黒岩かをる

今回の演題に関連して、  
開示すべきCOIはありません。

医療専門職・患者・家族・地域の〈納得と安心と信頼〉が  
通い合う “ ありがとうが行き交う医療® ” をみんなで創る



一般社団法人 日本医療面接訓練評価センター

Japan Medical Interview Training and Assessment Center

JaMITAC®式医療面接訓練士による「総合的医療面接シミュレーショントレーニング」を提供

## ●遠隔医療学会で「遠隔医療のワクワクする可能性」に出逢いました！

◆学生さんからベテランの先生まで、それぞれの専門性・レベルに応じて、様々なテーマで、トレーニングプログラムをデザインするためには、常にアップツーデートして、**先生方の最新の課題とニーズを肌で感じる**必要がありますので、可能な限り、様々な学会の末席で学ばせていただいております。

その学会も今はまさに、ハイブリッド・オンデマンドの時代で、勉強の機会が増えまして、大変嬉しく思っております。もう戻れませんので、「**ピンチをチャンスに！**」です。

◆2018年「オンライン診療料・医学管理料新設」の前年2017年でした。遠隔医療学会ですばらしい「**遠隔医療**」の**ワクワクする可能性**に出逢い、お会いした先生からも、「医療面接はとても大切です。特に遠隔医療をやる場合はより大切になってきますので、今後は是非お力添えをお願いします。」と有難いお言葉をいただき、備えておりました。

## ●オンライン診療を「質の高い第四の診療形態」として、育成・普及推進！

◆今まさに「オンライン模擬患者・家族のパイオニア」として、激動するオンライン診療を市民の立場から牽引する役割を担うことになりました次第です。

◆オンラインオペレーションやICTスペシャリストメンバーを中心に、オンラインチームを結成。医学部のOSCEやPost-CC OSCE、初期臨床研修医オリエンテーションでの医療面接演習、エンドオブライフケア教育研修などのお手伝いをさせていただいております。

◆2020年8月から、JPCAのICT診療委員会プロジェクト第一弾『プライマリ・ケアにおけるオンライン診療ガイド』解説動画制作へ協力させていただき、2021年6月から第二弾『オンライン診療 診断学ことはじめ』へ入りました。

◆オンライン診療を【質の高い第四の診療形態】として、医療者・患者・家族・地域の視点から育成、普及推進する活動へ邁進しております。

## ● 初期臨床研修医へ「オンライン医療面接演習」をトータルパッケージとして提供

- JaMITACホストのスムーズな進行や医療面接訓練士のリアリティ溢れる演技とところに響くフィードバックへは、いつも通り、院長先生はじめ、指導医・研修医の先生方から嬉しいお声をいただきましたが、
  - 模擬患者さんの入り込みが凄かった。大学の授業ではそこまでキャラクターを作り上げることはないため、驚いた。
  - 模擬患者さんの演技が素晴らしかったです。実際の臨床現場でのあるあるですね。
  - しっかり役に入り込んでくださる模擬患者さんでとても実践的でした。スムーズな進行も有難うございました。
  - 疾患ごとの細かい特徴などもリアルに再現していただだけ、また、参考、励みになるような感想などもしっかりお聞かせいただくことができ、とても感謝しております。
- Zoom録画映像を用いた「ビデオレビュー」は、対面時録画よりも、自分の声質や表情・しぐさなどが客観視できて学習効果が高かったと、特に好評でした。
- Googleドライブによる振り返りも、新鮮な気づきや更なる動機づけへ効果的でした。
- ◆ **オンライン診療の未来へ向けて、次世代を担う若手の育成に携わることが** **できますのはこの上なく光栄で、嬉しいことです！**

「オンライン診療 診断学ことはじめ」プロジェクトへの参加や  
「オンライン学会・セミナー・WS」 から得られた気づきや学び

## ●「オンライン医療面接コミュニケーション力」を培うトレーニングが必要！

◆「医療者の物語り」と「患者・家族の物語り」が出会う総合的医療面接の場面。

「オンライン診療で診断に必要な質の高い情報を得るためには、相手とともにいるという意識が大切。口調、滑舌、カメラ目線、うなづきなどの少し大き目の反応等々、新しいスキルの習得が必要。外国では研修が盛ん、日本でも！」と、言われています。

2年間のオンライン模擬患者・家族の経験の中から、オンラインでは、対面以上に、「医療者の目線や表情、身振り手振りなどの所作、よりはっきりとした言葉など、言語的／非言語的コミュニケーション力」が問われることを痛感致しました。

まさに「オンライン医療面接コミュニケーション力」を培うトレーニングが必要ということです

### 【オンライン医療面接実施の際の注意点】

- 相手の顔(カメラ)を見て話すこと
- 表情や身振り手振りを大きくすること
- 相手の一言一言に指示的な相槌を挟むこと
- ・笑顔で接すること
- ・意識的にゆっくり話すこと
- ・身だしなみに気をつけること

## ●トレーニングに携わる「医療面接訓練士®チーム」の養成と効果

◆医療面接トレーニングの場は、非常に効果的であるが故に、学習対象者に**トラウマ**をもたらすなど**諸刃の剣(もろはのつるぎ)**ともなる危険性をはらんでいます。

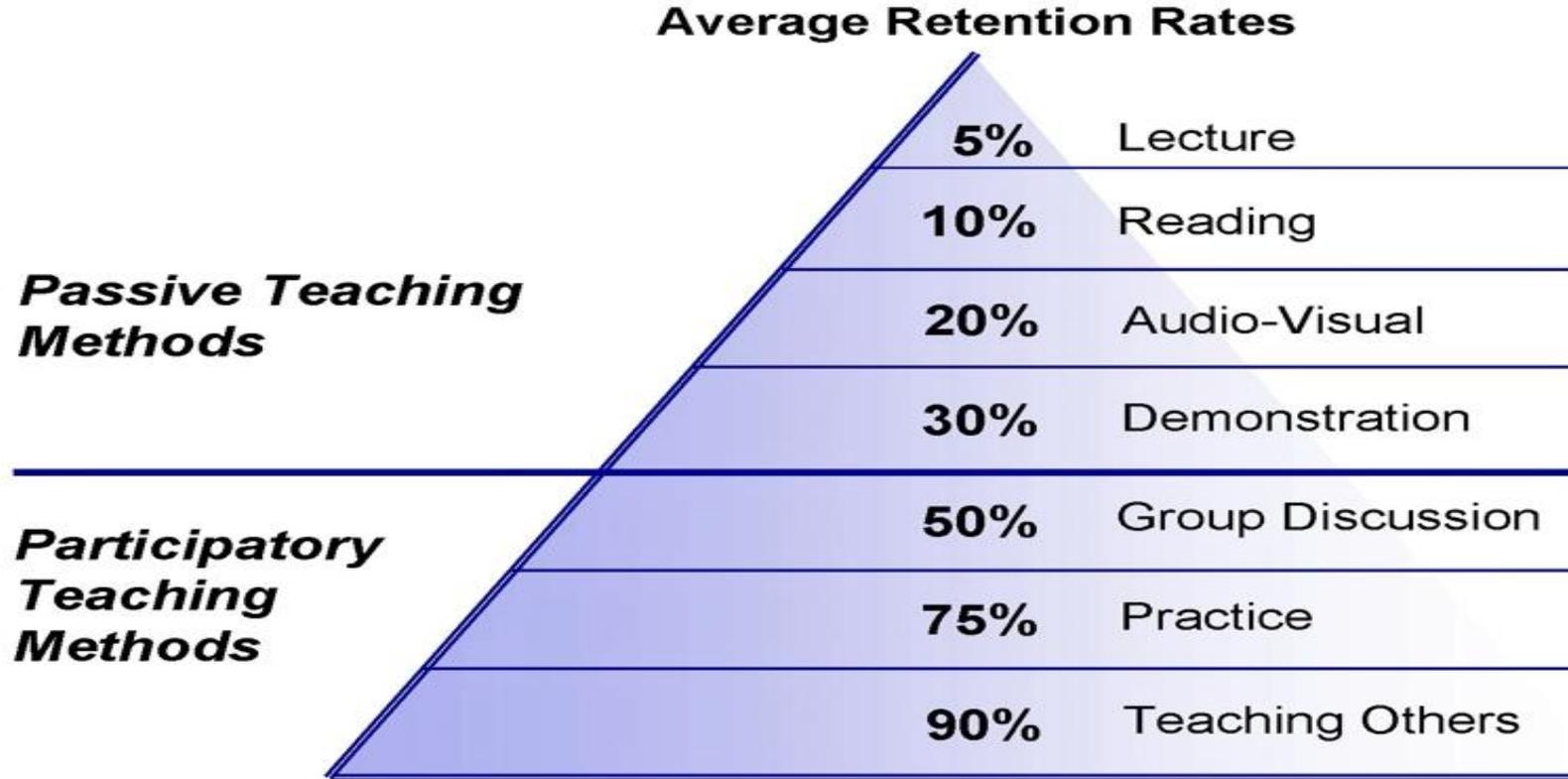
◆医療面接訓練士®は、「**医療者の人生に深く関わる“生きた教材”**」という認識のもと、緻密に設計した「**医療面接訓練士コンピテンシー・ディクショナリー**」に基づいて養成し、患者や家族の人生を想像して、創造する力と表現する力をしっかり身に付けます。

◆綿密に創作・緻密に設定された「**患者／家族プロフィールと人生の物語りのデータベース**」に沿ったパフォーマンスが、「**本物の患者さんかと思いましたが**」と言われるような**リアリティ、臨場感**あるシミュレーショントレーニングの場を現出させます。

◆学習者が、目の前のひとりの患者・家族(医療面接訓練士®)に、**真剣に本気で向き合う**からこそ、「**気づいて変わる**」学びのサイクルが回って**＋の動機づけ効果**をもたらすのです。

◆「**オンライン特有**の医療コミュニケーション力」の教育訓練が必須であることを心して、オンライン模擬患者・家族は特に、**プライベートオンライントレーニング**で訓練しております。

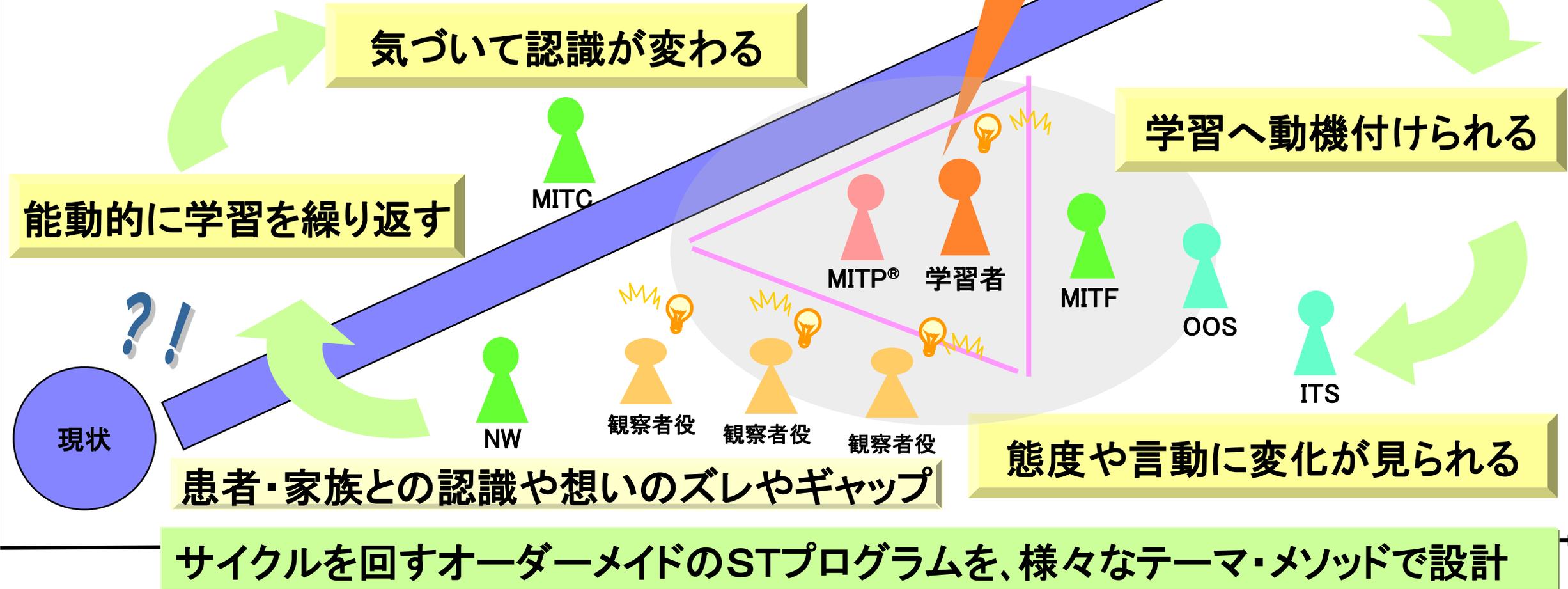
# The Learning Pyramid\*



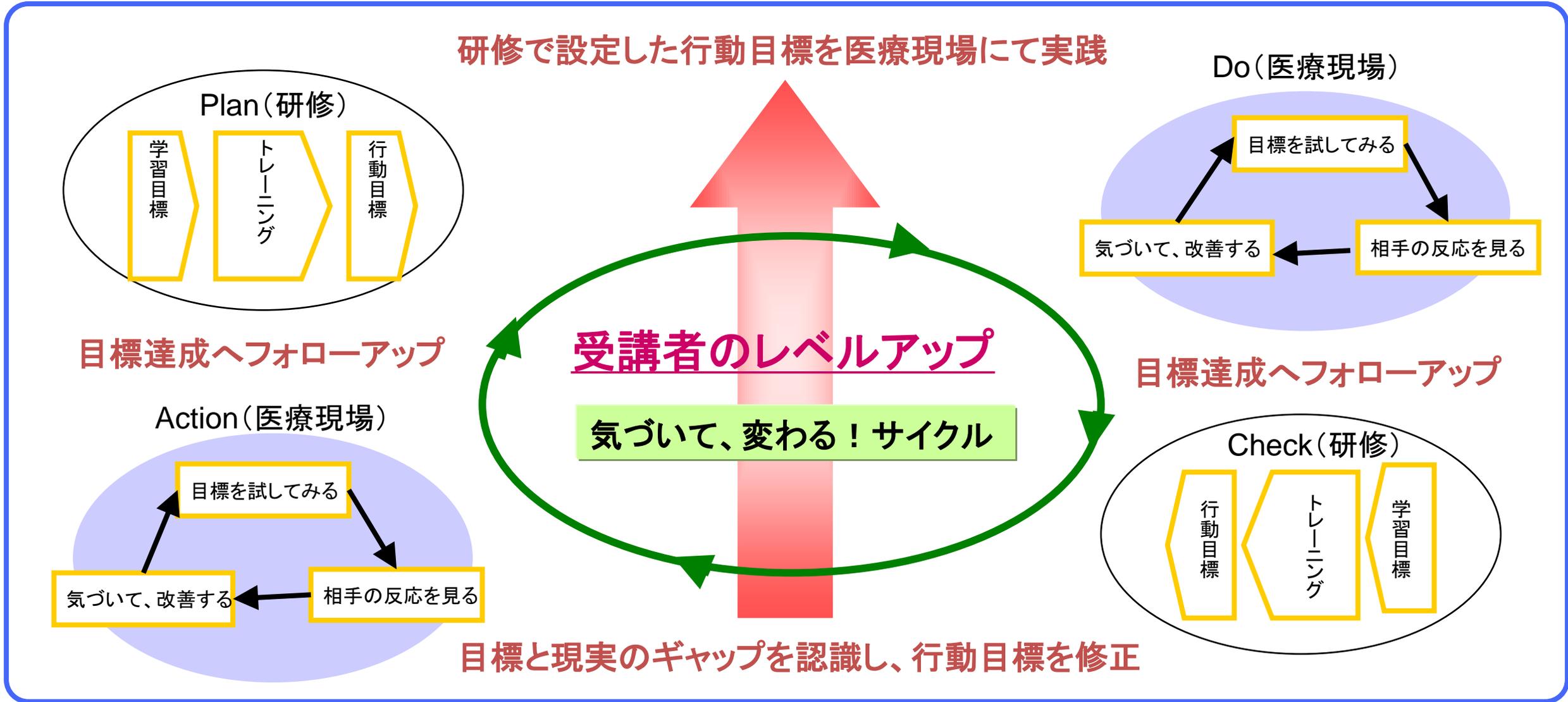
\*Adapted from National Training Laboratories. Bethel, Maine

JaMITAC式 医療面接訓練士:MITP®を生きた教材として医療コミュニケーションシミュレーショントレーニング

学習対象者がリアリティと臨場感あふれるシミュレーションに真剣に一生懸命向き合うようにデザインするからこそ、患者・家族との「認識や想いのズレやギャップ」に気づいて「態度や言動が変わる」動機づけと学びのサイクルが回ります



# 継続的に「気づきによる動機付け」と「行動変容」を促すサイクル



## ●オンライン模擬患者・家族として「オンライン診療に向き合って」 得られた気づきからの ご提案!

◆わたくしどもJaMITACのメンバーは、この模擬患者・家族活動を通して、日々、先生方の大変さを痛感しながら、様々な学びを得ております。大きなひとつは、「**医療者と患者・家族間の認識や想いのズレやギャップへの気づき**」ですが、  
・今回もコロナ禍で奮闘されています先生方をはじめ、医療専門職の方々を少しでも応援できればと、2年間「オンライン診療」に向き合ってきて、改めて原点に立ち返る気づきがありました。

- 患者・家族が納得・安心・信頼でき、そして感謝する、オンライン診療の**質を担保する教育研修**の導入
- 患者・家族が積極的にオンライン診療を利用できるような支援⇒例えば、高齢者のITリテラシーを高める支援や、**遠くの家族もオンライン診療やACPに参加できるシステム**導入
- オンラインでも、患者・家族が安心できる様々な**遠隔モニタリングシステム**や**モバイルデバイス**等々の導入
- オンライン診療の満足度調査などの現状把握を、次のステップに繋げる**調査研究の推進**

## ●オンライン診療への「患者・家族の声」(1)

◆【高齢者のITリテラシー】への懸念がある中、ある学会で、【**高齢者のオンライン診療のメリット**】が9点も取り上げられていて、大変嬉しかったのですが【**患者や家族からも、オンライン診療を歓迎・指示する声**】が寄せられています。

- オンラインだと、交通費、時間を使わずに、いつものように診察が受けられるし、先生の顔も見えるし、安心で安全です。
- 薬だけが必要な時でも、いつもの先生にオンラインで診察していただけるし、処方箋も書いていただけて、薬も近くの薬局で受け取れるので、とても便利です。
- 私は持病があって3か月に1回の定期受診が必要ですが、採血や画像撮影以外の時はオンラインで診ていただけて、**準備や往復時間や交通費や待ち時間が不要**で、とても助かっています。

## ●オンライン診療を歓迎・支持する「患者・家族の声」(2)

- 今までは、病院に行くのは一日がかりだったが、**時間が短くなって**、とても助かっている。
- お薬もオンラインでいただけで本当に便利になった。
- 混んでいる時、訴えたいことが言えなかったり、聞かなければいけないことが聞けないが、先生が一定の時間を割いてくれるので**集中して話ができ**て、離れているが、**密度の高い会話**ができていると感じる。
- 離れていても、**顔を見て**、「大丈夫ですよ」と言ってもらえるので、**安心感**がある。

- オンライン診療を指示する声から、オンライン診療のトレーニングは、  
【対面診療の医療コミュニケーションの質も高める！】ということに  
気づきました。
- 虫の目、鳥の目、魚(さかな)の目を得て、医療者・患者・家族・地域へ、  
幸せを運ぶ福音となる！のではないのでしょうか。

- 患者・家族の **不安・懸念**は、「オンライン診療教育研修の普及推進」や「システムやデバイスの導入」等で解決の方向に向かうと確信致します。

### 【患者・家族の不安・懸念】

- 肉眼で見るとカメラを通して見るのでは全然違う。**誤診**されたくないから、オンライン診療は受けたくないです。
- 直接診てもらっても誤診もあり得るのに、オンラインだとどうなのかなっていう不安があります。
- 医者とLINEやZoomでしゃべるだけで診療になるのでしょうか？

【オンライン医療・保健・福祉の未来】へ  
～篤い想いからのご提案・切なる希望～





●最近の学会等で頻出する「医療・保健・福祉」のテーマを、質の高い第四の形態としてオンラインで実施できれば、更なる福音となるのではないのでしょうか

◆このような学会での学びを活かして、オンラインという方法を活用した医療者・患者・家族・地域にとって福音となる医療・保健・福祉を、オンラインのメリットは伸ばし、デメリットは克服して(例えば、高齢者のITリテラシー向上支援や D to P with N、遠隔モニタリングシステムなど)、質の高い第四の形態として育成・普及推進するお手伝いを致します。

- オンライン診療／服薬指導／ポリファーマシー指導 はもちろん
- オンラインによる精神保健指導や、禁煙指導などの生活習慣病指導
- 遠方(日本国内のみならず、外国在住)の家族も参加できるオンラインACP
- オンラインで検査結果や治療方針を説明する Shared Decision Making / Breaking Bad News
- 遠方の家族も参加できる多職種連携オンライン入退院支援カンファレンス
- 遺族・自死遺族へのオンライングリーフケア 等々

●家族も参加するオンライン診療が、国が推進する「ACP(人生会議)」を広めます！

- 事前指示書、AD、DNAR等をとるためではない、「納得して自分らしく“生ききる”ための、対話のプロセス」というACPコンセプト浸透のために、「人生の物語リメソッド」モデルで臨みます。
- 日本では家族が大切です！ エンドオブライフケアでは、常に「家族への負担感」が大きなテーマとなりますし、救急現場等も含めて患者の人生の最終段階の治療で、遠くの家族の訴えや主張が先生方を悩ますということもよくあることです。
- 日常診療に同居家族だけではなく、遠くの家族も参加させることが、ACP導入の助けにもなると考えますので、医療機関の負担にならないような「遠くの家族のオンライン診療への参加」が望まれます。
- オンライン診療の場を使うと、ACPというおおげさな感じではなく、自然にいろいろな話ができるのではないのでしょうか。

ご清聴ありがとうございました。最後に「篤い想い」を2つ！

➤ 「オンライン診療 診断学ことはじめ」 第四話エピソード  
～ 「オンライン診療の魅力とメリット」 を改めて感じた！～

➤  の「ロゴ」に籠められた 想い

## ● 第四話収録時のエピソード 「オンライン診療の魅力とメリット」を感じた！

◆ 医師役の先生から、「思わず楽しくなった」と、最高の評価をいただきました。

➤ まさに、わたくしどもJaMITACがめざしています「自然なリアリティ・臨場感に引き込まれて、学習対象者自らが楽しく学んで気づいていただくシミュレーショントレーニング」になっていたのです。



➤ 先生からは、「オンライン診療の魅力とメリット」を改めて感じたともおっしゃっていただきました。まさに、わたくしどもの篤い想いです。

➤ オンライン診療を普及推進するための教育研修の必要性を益々感じる昨今です。

➤ 「シミュレーショントレーニングの魅力とメリット」を味わえる教育研修で、是非「オンライン診療の魅力とメリット」を改めて感じてください！

◆ そして、「遠くの家族とのオンラインACPやALP(アドバンス・ライフ・プランニング)の普及促進」「高齢者のITリテラシーの向上」等々へのご支援も何卒よろしくお願い致します。貴重なお時間を本当に有難うございました。

ロゴ

に籠めた

想い



◆ JaMITAC(ジャミタック)のロゴは、医療プロフェッショナルと、患者・家族が真摯に向き合う傍らに、これまた真摯に寄り添う **医療専門職や家族** の「それぞれの人生の物語り・価値観の出会いの場」を表現しました。

「医療者の予防し、治し、支えたい想い」と  
「患者の健康でいたい！治って元気になりたい！」の **懸け橋** として

「**人生百年時代・人工知能時代・オンライン時代**」の **次世代を拓く医療人**」  
とともに学びはぐくみ合い、医療者・患者・家族・地域の  
「**納得と安心と信頼の好循環**」を生み出して、

医療資源偏在を解消し、医療へのアクセスを劇的に改善する  
『**オンライン診療による新しい地域医療の姿**』で、  
医療者・患者・家族・地域の**幸せ**に貢献してまいります！



JaMITAC®

代表理事  
黒岩かをる

## 一般社団法人 日本医療面接訓練評価センター: JaMITAC® 代表理事 黒岩かをる

当事業に関わる経歴	1997年 04月	国立大学医学部「模擬患者」として活動開始
	1999年 04月	任意団体「福岡SP研究会を」設立 のち「九州山口SP研究会」と改称 代表
	2001年 08月	NPO法人認証「特定非営利活動法人医療コミュニケーション薫陶塾」理事長
	2003年 12月	NPOを発展的に解散して「医療コミュニケーション薫陶塾グループ 株式会社薫陶塾」設立 代表取締役
	2004年 03月	「薫陶塾グループ メディカル・コミュニケーション総合研究所」代表
	2009年 11月	株式会社薫陶塾にて「特定労働者派遣事業」取得
	2011年 08月	NPO法人 卒後臨床研修評価機構: JCEP サーベイヤー
	2014年 10月	公益財団法人 丸和育志会「優秀プロジェクト」表彰
	2015年 03月	「一般社団法人 日本医療面接訓練評価センター」設立 代表理事、 株式会社薫陶塾 取締役会長
	2016年 04月	一般財団法人 日本医療教育財団 外国人患者受入れ医療機関認証制度 認定調査員
学歴/資格等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修猷館高等学校卒業 ・津田塾大学学芸学部英文学科卒業 ・日本福祉大学 中央福祉専門学校 社会福祉士科修了</li> <li>・九州大学専門大学院 医学系学府 医療経営管理学科 修士課程修了 MPH</li> <li>・社会福祉士/産業カウンセラー/シニアライフアドバイザー/健康生きがいづくりアドバイザー/余暇生活開発士など</li> <li>・多摩大学医療・介護ソリューション研究所 フェロー ・医療対話推進者 ・「医療安全管理者」(厚労省認定研修修了)</li> </ul>	
所属学会/研究会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般社団法人 日本医学教育学会 ・一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 ・一般社団法人 医療の質・安全学会</li> <li>・一般社団法人 日本在宅医療連合学会 ・一般社団法人 遠隔医療学会 ・一般社団法人 エンドオブライフ・ケア協会</li> <li>・日本医療教授システム学会 ・特定非営利活動法人 日本医療マネジメント学会 ・一般社団法人 禁煙学会</li> <li>・特定非営利活動法人 全世代 ・特定非営利活動法人 ホスピスケア研究会 ・総合医を育て地域住民の安心を守る会</li> <li>・医療事故紛争・対応研究会 ・公益社団法人 地域医療振興協会 ・公益財団法人 丸和育志会 など</li> </ul>	

## ◆CPC見学で動機づけられ◆

2002年4月「ともに学び育み合う学生自主講座企画」をスタート。その第一弾として5月に医学生15人と、米国のイリノイ大学シカゴ校へ大西弘高先生を訪問する「CPC(Clinical Performance Center)」**見学ツアー**を企画運営し、**標準模擬患者を活用した教育の本場**を目の当たりにしました。

そこにはビデオカメラ付きの専用の模擬診察室が19室。訓練を受けたSP(標準模擬患者)が常駐していました。「**日本にもいつかこんな施設や機能を**」と、強く動機づけられて帰国。「**日本版メディカルインタービュー・トレーニングセンター**」設立を最終目標に、日々鋭意邁進しておりましたところ、今まさに「**オンライン医療・保健・福祉**」**教育研修拠点**としての役割も加わりました次第です。



CSAWSを録えホッとする医師役たち (はしゃぐ)



ホテルの部屋で行なわれたCSAWS本番

◆次世代を拓く若手医療人のみなさんへ応援メッセージ◆

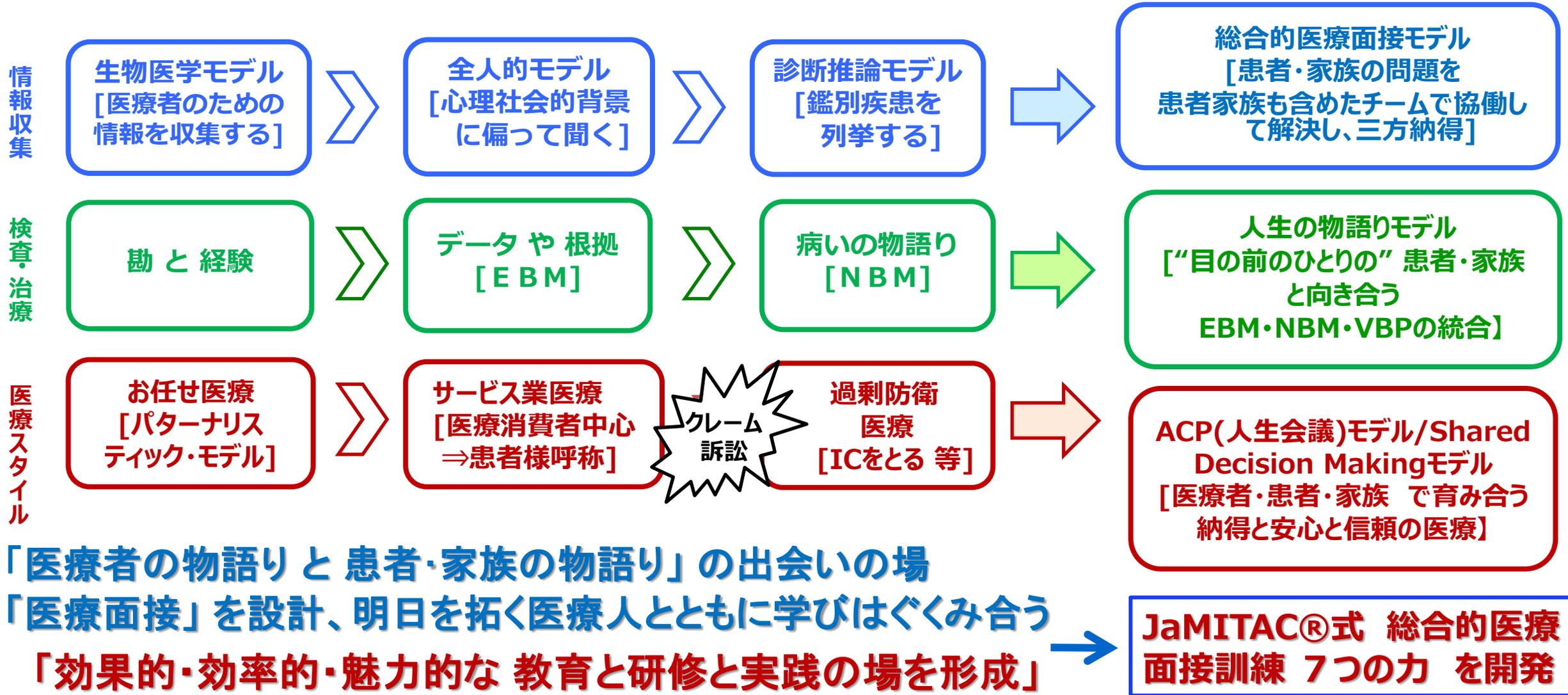
皆さんには目の前の大変さに流されたり、現実の厳しさに押しつぶされたりすることなく、それぞれの目標を設定し、「Teaching is Learning」を実践しながら自分の思い描く20年後の姿に向かって、夢と誇りをもって一步一步着実な歩みを進めていかれますよう エールを送る気持ちで、自らにも納得のいく成果を出し患者さん・ご家族に、こころから“ありがとう”と感謝され信頼されることにより充実感・達成感・満足感を得て成長される皆さんを支援し続けます。



ノンフィクション作家の柳田邦男さんも訪室して激励してくださいました。

2003年4月2日～8日「[第26回日本医学会総会](#)」～[社会が育てる医学と医療](#)～「[模擬診察室](#)」協力出展

「医療面接訓練：Medical Interview Training」 MIT) とともに23年 歩んでまいりました。



## 【医療プロフェッショナルに対する市民・社会からの要請】

- 病気のみではなく、病める私の 全体像・家族・地域も診て、その問題を解決してほしい
- 病気の状態や、行おうとする医療行為、受けることができる保健・社会的支援について理解・納得・安心できるように説明してほしい
- 最新の専門知識・技術を身に付けることに日々努めて、その提供方法にも配慮して、より質の高い 安全・安心の医療 を提供してほしい

医療プロフェッショナルにとって必要不可欠な  
「人間力・総合的医療面接力・オンライン医療コミュニケーション力」

↓↓ これらの力を分解し可視化すると

- ① 関係構築力
- ② 信頼構築力
- ③ 情報収集力
- ④ 臨床推論力
- ⑤ 協働決定力
- ⑥ 感情推察力
- ⑦ 行動変容力

この新しい「JaMITAC®式 総合的医療面接訓練 7つの力」は

- 「今、市民・社会はこのような医療プロフェッショナルを求めています」という要請に応える「7つの力」を養成する**オーダーメイド**の**シミュレーションMITプログラム**です。
- 学習対象者が「リアリティと臨場感あふれるシミュレーション」に「真剣に一生懸命」向き合うからこそ、患者・家族との「認識や想いのズレやギャップ」に「気づいて変わる更なる動機づけの場」です。

## 1. 関係構築力

## 2. 信頼構築力

## 3. 情報収集力

## 4. 臨床推論力

## 5. 協働決定力

## 6. 感情推察力

## 7. 行動変容力

JaMITAC®式 医療面接訓練士  
 (プロの模擬患者) チームが  
 「人間力」「総合的医療面接力」を養成する  
**「医療プロフェッショナルの  
 生涯学習の場」**をサポートし続けます

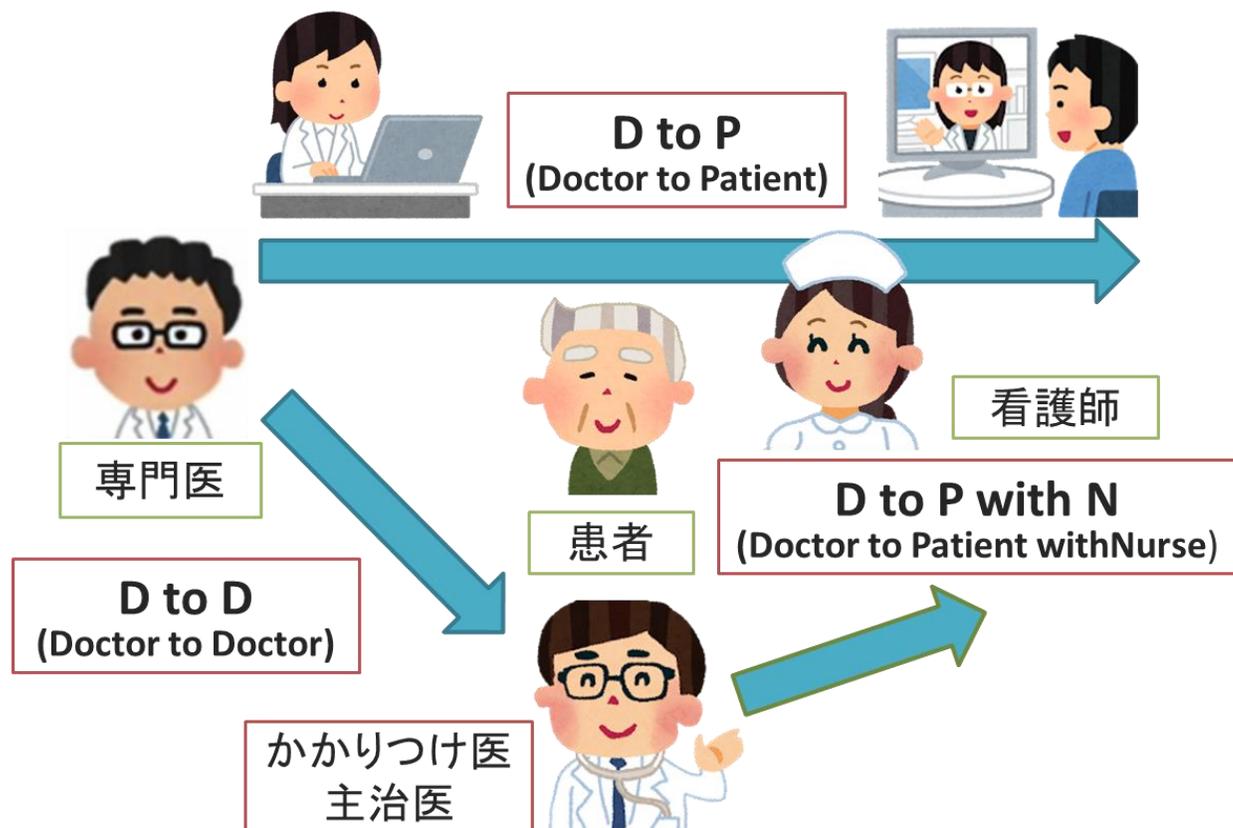
理念

JaMITAC® は、“次世代をはぐくむ志”のもと

人生百年/AI/オンライン時代の「医療専門職の生涯学習の場」をサポートし続けます

JaMITAC®式 総合的医療面接訓練 7つの力で！

～素敵な出会いをありがとうございました！～



医療専門職・患者・家族・地域の  
「納得と安心と信頼」が 通い合う  
“ありがとうが 行き交う医療®”  
をみんなで創る

JaMITAC®

一般社団法人 日本医療面接訓練評価センター

Japan Medical Interview Training and Assessment Center

詳細は <https://jamitac.or.jp> をご覧ください



一般社団法人 日本医療面接訓練評価センター

Japan Medical Interview Training and Assessment Center

理念

JaMITAC® は、**“次世代をはぐくむ志”**のもと

篤い想い

**次世代を拓く医療人のみなさんを実践応援します！**

<https://medjapan.org/03organization/kuroiwakaoru/>⇒次ページ

使命

**医療専門職の“人間力”“総合的医療面接力”“オンライン医療コミュニケーション力” 養成に資する「生涯学習の場」をサポート**

方略

**JaMITAC®式 総合的医療面接訓練7つの力:シミュレーションMITプログラム**